



現在の子どもの様子

・幼児での異年齢の活動が始まり、幼児集会や会食等の活動を楽しんでいる。地区センターでゲーム・リズム遊び、給食の献立がカレーの日には好きな部屋へと移動して会食をしながら交流を深めている。  
 ・梅雨時期の為、雨の日には製作をしたりゲーム遊びや自由遊び(ぬり絵・ままごと遊び・ミニカー等)をしたりしている。晴れている日には裸足保育や足だけの泥んこ遊び、虫探しや鉄棒、ころがしドッチ、だるまさんがころんだ等色々な友だちと関わりながら遊んでいる。友だちの影響をうけて鉄棒に興味を持ち、逆上がりや前回りに挑戦したり、虫に興味や関心がある児が多く虫をみつけると虫カゴに集まり観察したりしている。  
 ・クラスで栽培している野菜の実がなったことに気づき観察し成長を喜んでいる。給食の献立に出てくると興味を示し食べてみようという意欲に繋がっている。  
 ・友だち同士で関わりを楽しみながら遊ぶ姿が多く見られる。トラブルになることもあるので仲立ちは必要だが、子ども同士で解決する姿を見守っていきたい。

ねらい

○夏の健康な過ごし方を知り、身の回りの始末を自分でする。  
 ○水の感触を味わいながら、プール遊び楽しむ。  
 ○自分の思いを伝えながら、友だちとの関わりを楽しむ。  
 ○身近な虫に触れたり、夏野菜を収穫したりして、虫や野菜等の動植物に興味・関心を持つ。

行事

・7日(金)七夕集会  
 ・13(金)英語  
 ・17日(火)避難訓練  
 ・18日(水)幼児集会

地域との関わり

・散歩先でしっかりと挨拶を交わし交流を持つ。

自己評価

暑い日が続いたがこまめな水分補給を配慮したことで健康に過ごすことができた。七夕の由来や七夕飾りの意味を紙芝居や集会で伝えることで関心ももてるようになった。野菜の栽培を通して野菜に興味を持ち苦手な野菜も食べてみようというきっかけになった。プール遊びの際、着替えや準備を丁寧に行ったことでスムーズにできるようになった。泥んこ・水・プール遊びを通して水にふれる楽しさや心地良さを感じることができた。安全に配慮し職員間で連携を取りながら活動することができた。

内容

環境構成

保育士の配慮

取り組みの状況と保育士の振り返り

養護(生・情)教育(健・人・環・言・表)

○一人ひとりの健康状態を把握し、活動と休息のバランスをとりながら、夏を快適に過ごせるようにする。  
 ○夏野菜の生長や収穫を喜び、様々な食材の味を楽しむ。  
 ○夏の生活の仕方を確認し、身の回りの事を自分でする。  
 ○プール遊び、水・泥遊びを楽しむ。  
 ○ルールや約束を守り、友だちとの関わりを広げながら、夏の遊びを楽しむ。  
 ○異年齢と、戸外・室内での遊びを楽しみ交流を深める。  
 ○七夕の話の聞いたり、絵本や紙芝居を見たりして七夕について知る。  
 ○簡単な七夕飾り作りや、折り紙遊びなどを通じ、様々な模様や形が出来る事に気付く。

○お茶を常に準備したり、部屋にゴザなどを敷いたりして、十分な水分や休息がとれるようにする。  
 ○水やり等の世話をすることで、身近に感じ、生長を楽しむに出来るようにする。順番に収穫することで、様々な食材に興味・関心が持てるようにする。  
 ○子どもの動線を考え手順よく着脱や荷物の整理が出来るように場所を決めておく。  
 ○水や泥などに十分親しんで遊べるように、様々な玩具(水鉄砲・浮き輪・ビーチボール等)を準備する。  
 ○水・プール遊び時の危険な事は、絵を用いて分かりやすく表し、皆で確認できるようにする。  
 ○担任間で事前に交流の内容や日程を話し合い、交流する機会を沢山つくる。  
 ○七夕の絵本や紙芝居を部屋におき、子ども達が読みたい時にいつでも読める環境を作る。  
 ○折り紙やハサミ、のりなどを準備し、色々な飾りを存分に作れるようにする。

○一人ひとりの体調を把握し、水分や休息を十分にとれるように、言葉を掛けていく。  
 ○収穫した野菜のにおいをかいだり、色・大きさ・形などをよく観察したりするように声掛けをして、興味や関心が持てるようにする。  
 ○子どもが自分でしようとする姿を見守り、必要に応じて手順や方法を丁寧に知らせ、身に付くようにする。  
 ○危険な場面では、その都度知らせていく。又、水に抵抗がある子どもには、その姿を優しく受け止め、少しずつ慣れるように保育者も一緒に遊び、楽しさが味わえるようにする。  
 ○異年齢での交流を一人ひとりが無理なく楽しめるように、気持ちに寄り添い少しずつ慣れていけるような声掛けや、活動内容を工夫していく。  
 ○七夕の絵本や紙芝居を読み聞かせしたり、簡単な七夕飾りの作り方を分かりやすく、丁寧に説明し見本を見せたりする。

・水遊びやプール遊びを兼ね、登園時に口頭や連絡ノートで健康状態を把握した。また活動の前後に顔に手を当て触診したり、こまめな水分補給を心掛けたりしたことで体調を崩すことなく過ごすことができた。  
 ・野菜に水やりをしながら変化に気づき生長に目を向けられるように働きかけた。収穫する嬉しさや取り立ての味を経験することができた。また育てた野菜に興味を持ち食べてみようという気持ちを育むことができた。  
 ・プール遊びの際、同線を考えたことで着替えや準備がスムーズにできている。また着替えた衣服の確認をすることできれいに畳んでいる。プール遊びの約束を絵カードで確認したことで興味を持ち危険のないように遊んでいる。泥んこ・水・プール遊びを十分に楽しめる環境設定を行うことで水にふれる楽しさ、面白さを感じながらダイナミックに遊んでいる。  
 ・泥んこ・水遊びを一緒に行ったり、カレーの日に会食したりすることで刺激を受けたり、年下の子もお世話する姿が見られる  
 ・七夕の製作の際、数人ずつ取り組むことで安全な使い方を見守ることができた。のびのびとイメージを広げながら楽しく製作することができた。

食育

・栽培している野菜の生長を楽しみながら世話をする。

・当番を中心に収穫する。

・一緒に生長を喜び気持ちに共感しながら、調理された野菜を美味しく食べる。

・水やりをしながら生長に気づき、収穫を喜びながら食べてみたいという興味へと繋がった。